



..... 表紙写真

【オクラレルカ】 (大宜味村)

表紙に掲載されている植物は、アヤメ科アヤメ属のアイリスの一種で、「オクラレルカ」と呼ばれています。

大宜味村喜如嘉では、毎年3月下旬から4月下旬にかけて、観賞用として育てられたオクラレルカを見ることができます。

紫色の花が一面に咲く風景はとても美しく、多くの人が見学に訪れていました。

群星 [むりぶし] Muribushi

CONTENTS

特集

01 東日本大震災への対応について 内閣府沖縄総合事務局長 竹澤 正明

02 特集 1 「東日本大震災」への沖縄総合事務局の対応について

04 特集 2 Yell, Laugh & Peace 第3回沖縄国際映画祭

仕事の窓

06 仕事の窓 1 財務部 法人企業景気予測調査

08 仕事の窓 2 農林水産部 食品ロスの削減に向けて

10 仕事の窓 3 経済産業部 「沖縄感性・文化産業シンポジウム」の開催について

12 仕事の窓 4 運輸部 平成22年度観光まちづくりコンサルティング事業について

14 仕事の窓 5 運輸部 地域公共交通活性化・再生セミナーの開催について

15 仕事の窓 6 運輸部 平成23年度第2回沖縄地方バリアフリー推進連絡会議の開催について

16 なかゆくい こんなにあったの!? 船のいろいろ

局の動き

18 総務部 「平成22年度第4回沖縄振興講演会」を開催
財務部 「地域密着型金融に関するシンポジウム in おきなわ」を開催

19 財務部 「多重債務問題に係る出前講座」を実施
農林水産部 「農山漁村の6次産業化」に係る説明会、相談会を開催

20 農林水産部 消費者の部屋特別展示 「農業農村整備パネル展」
運輸部 運輸安全マネジメントセミナーの開催について

21 お知らせ

沖縄の通貨 あれこれ!

#6



平和希求紙幣 ～二千円札～

沖縄の通貨シリーズ連載も今回で最終回となりました。そこで、今回は二千円札の普及活動や図柄についてご紹介します。

昨年は、2000年7月の九州・沖縄サミット開催を機に、二千円札が発行されて10周年を迎えたことで、「二千円札流通促進委員会」（委員長・湖城英知氏）をはじめさまざまな団体が、それぞれ趣向をこらしてイベントを開催し更なる普及活動を行いました。当局においても、3月～4月及び11月と2回にわたり「二千円札発行10周年記念パネル展」を開催したところです。

このように県内の幅広い普及活動もあって、全国では、二千円札の発行高が減少傾向にあるなか、県内では増加傾向にあります。（平成22年12月末で382万枚）

二千円札の表の図柄となっている「守礼門」は、琉球国王尚清（しょうせい）（在位1527～1555年）の時代に創建されており、昭和8年に国宝に指定されました。現在の守礼門は、去る大戦で焼失したのを昭和33年に復元されたことから、二千円札は「平和希求紙幣」として、県民の愛着が深いと言われています。また、守礼門が描かれていることから沖縄のPRに有効です。なお、裏の図柄は、左側に「源氏物語絵巻」の絵の一部分に詞書（ことばがき）の冒頭部分を重ね合わせたものを配し、右側に源氏物語の作者である紫式部の絵が配されています。

皆様も二千円札を率先して使って、沖縄のPRに貢献しましょう！



表



裏（財務省HPより）